

## 第1回 阿波おどり事業検証有識者会議 議事録

開催日時 平成30年9月28日(金) 午後6時～

開催場所 徳島市市役所11階 1101会議室

出席者 委員6名 事務局8名

### 1 開会

### 2 市長挨拶

### 3 委員紹介

### 4 議題(1) 阿波おどり事業検証有識者会議設置要綱について

#### 【事務局】

資料1 阿波おどり事業検証有識者会議設置要綱について説明

### 5 委員長及び副委員長選任

委員長に豊永委員、副委員長に木村委員を選出

### 6 議題(2) 平成30年度阿波おどり事業について

#### 【事務局】

資料2 阿波おどり開催に向けての組織体制について説明

#### 【豊永委員長】

今年度の運営体制は実行委員会が8団体、運営協議会が24団体で構成される諮問機関の運営協議会があり、そこで意見を吸い上げ実行委員会に提案を行い実行委員会が決定を行う。このような体制であったが、質問等はあるか。

(質問なし)

#### 【事務局】

資料3 平成30年度阿波おどり事業計画について説明

#### 【豊永委員長】

平成29年度の決算は出ているのか。

#### 【事務局】

平成29年度の決算については、観光協会が阿波おどり事業を行っており、年度末に解散しているため、はっきりとした決算はわからない状態である。決算として分かって

いるのは平成28年度までである。

**【豊永委員長】**

解散は3月中旬に破産申し立てをした以降になるが、それまで平成29年度の8月  
が終わり、9月頃から新聞報道、週刊誌等でいろいろ採めた経緯があったと記憶してい  
るが、平成29年度の決算はまったく出ていないのか。

**【事務局】**

決算の概要、途中経過のような数字は裁判所に提出されている資料中で伺い知るこ  
とができる部分もあるが、例年であれば翌年度の5月に観光協会の決算と合わせてこ  
の阿波おどり事業の決算も出していたので、最終の額は掴めていない。

**【豊永委員長】**

平成28年度から3年間の決算を比較し、いろいろ検討した方がいいと思う。まった  
く資料がないのか、断片的なものはあるのか。

**【事務局】**

例えば平成29年度の契約書等は残っているので、それを積み上げることにより、概  
要が見えてくるが、残っている書類が全てなのかがわからない。平成29年度の最終的  
な収支を出すのは難しい状況である。

**【豊永委員長】**

平成29年度の決算は最終的に確定していないままになっているという理解で良い  
か。

**【事務局】**

そのように理解いただきたい。

**【豊永委員長】**

予算だけはあるということか。

**【事務局】**

そうである。

**【岡本委員】**

調査に入った時に、第三者委員会で平成29年度の収支予測の話は出なかったのか。

**【事務局】**

調査団が平成29年度の11月21日、22日に現地に出向き調査したが、その時点  
で決算は出ていない。対象としては平成29年度までの決算が出ているものに対して  
分析をおこなった。平成29年度の聞き取りは行っているが、調査報告書では平成28  
年度までの数字を前提としてまとめている。

**【福山委員】**

調査対象に平成29年度が含まれていなかったという理解で良いか。

**【事務局】**

平成29年度は対象外である。

【岡本委員】

平成29年度は概算、概略でも決定してから進まないといけないのではないかと。観光協会の主な事業は阿波おどりだと思うので、11月の時点で調査が入り、残りがほぼ例年通りの収支であると類推して一旦決算の数字を出した上での検討するのが良いかと思う。バイキングという番組で遠藤市長がこのことについて司会者から指摘されていたことがあった。諸事情がありこのような数字が推定されるということをオフィシャルで出すのがいいと思う。

【事務局】

収入、支出についても膨大な量だが書類は残っている。それを積み上げることは可能と思われる。

【岡本委員】

どのようにして決算の数字を出したかということを決めなければならない。わからないのに比較するのはどうなのかと散々テレビ番組で指摘されていたので、事情が分かれば皆さん納得すると思う。資料に掲載されている数字はこれでいいと思うが、企業決算は3期分を見るので、平成28年度、平成29年度は注釈付、30年度の数字を揃えるのがいいのではないかと。

【事務局】

平成30年度の決算については、10月中下旬を目途に示す予定であり、次回の会議に平成29年度どこまで積み上げられるかは別として、合わせて数字を出していきたい。

【豊永委員長】

平成29年度決算は不確定な要素あるが出していただく形で良いか。

【事務局】

次第には記載していないが、阿波おどり事業特別会計の累積赤字の解消策等に関する報告書を配布しておりますので、参考にさせていただきたい。

【豊永委員長】

資料の説明の後に検証者有識者会議がどのような方向で進めていくか議論したい。

【事務局】

資料4 平成30年度阿波おどり事業計画について説明

(質問なし)

【事務局】

資料5 人出の状況について説明

【豊永委員長】

人出の算出については、様々な手法があると資料に記載があるが、どのように推計しているのか。

【事務局】

今年の推計方法は、去年までの人出と比較する今までと同様のやり方をしている。具体的に言うと去年の12日の人出が35万人であった。この35万人をベースにし、同日の午後7時半頃の演舞場の入り具合、臨時駐車場の空車状況、それから実際の街角の人込みの状況を去年に比較して推計している。今年の12日は33万人で去年から1割5分ほど減っていると推計した。13日以降も同様に推計を行っている。

人出の推計方法は様々の手法があると記載しているが、例えば観光庁が出している入り込み状態をみたいなものはある。これは国が出しているやり方でポイントを決めて人数を数えて、その面積が全体の10分の1であるなら10倍したら人出の人数になるという推計方法もある。阿波おどりの人出の推計方法は、街角の人込みの状況を例年運営している者であれば去年より多い少ないは肌感覚で分かるので、去年の人出を参考にして去年より増えているか減っているかを出している。

【豊永委員長】

演舞場の入り具合は客観的なデータである。駐車場は街の駐車場でなくて阿波おどり期間中の小学校等の臨時駐車場にどれぐらい駐車しているのかということか。

【事務局】

小学校と別に郊外のマリンピア沖洲と吉野川河川敷の臨時駐車場がある。

【豊永委員長】

駐車場データはどのくらい規模で調査しているのか。

【事務局】

それぞれの駐車場にスタッフがいるので、実行委員会の方で聞き取りを行っている。

【豊永委員長】

データは残っているのか。

【事務局】

残っている。

【豊永委員長】

肌感覚とのことだが、平成28年と平成29年の123万人ぴったり同じというのもどうかと思うが。

【事務局】

過去のデータがあるかはわからない。

【豊永委員長】

今年度についてデータがあるのということで良いのか

【事務局】

平成30年度のデータはある。

【豊永委員長】

平成29年度までは観光協会が行っていたが、観光協会の中に阿波おどり実行委員会があったのか。

**【事務局】**

観光協会の中に実行委員会があった。

**【豊永委員長】**

別の審査会の関係で第三者委員会の本部長をやっているが、今年と去年は同様の推計方法なのか。

**【事務局】**

阿波おどりは、企画運営を徳島市と今まで阿波おどりに携わってきた徳島新聞社で行っており、人出については徳島新聞社と協議を行い、初日であれば33万人というのをはじき出した。

**【豊永委員長】**

もう少し詳しいデータを出していただきたい。

**【清水委員】**

以前に人出の問題がNHKで出たことがある。その時の算出方法は、交通機関、例えば飛行機やバス、自家用車を諸々含めた上で試算を行いおおよその人数を出しているとのことだった。

特に今年は短い期間であり、揉め事がありながら市の担当者が非常に苦労された。これは頭が下がる思いで、労いの言葉をかけたいと思っている。今回の人出が少なかった大きな問題は報道だったと思う。自分のところにも報道関係から連絡があったが、総おどりイコール阿波おどりだと捉えられた方が県外にはたくさんいるとのことであった。これは報道関係者にも言いたいのだが、正確な情報を報道していただきたい。徳島に来ていただく方のために、惑わす様な報道だけはしてほしくない。今年の人出は少ないが、仕方ないと思う。それと15日に雨が降り主催者は大変だったと思う。天気予報を聞きながら、開催していいものかどうか、しかも6時前に降ってきた。中止の指示を出してもおかしくなかったが、開催を決断して、踊り子さん達は一生懸命やってくれた。欲を言えばたくさん観客に来てほしかったが、雨の中人が来るわけがない。

**【豊永委員長】**

清水委員、今議論しているのは人出のデータのことについてである。雨も降ったし、報道の影響もあり、感覚的に人出が減ったとは思っている。踊り子や担当者は苦労したと思うが。

**【清水委員】**

来年以降は早期に実行委員会を立ち上げて、今年のことを踏まえて例年より早く準備を始めていただく。そうすれば、人出が上がるのではないか。

**【豊永委員長】**

今議論を行っているのは根拠のあるデータが必要かどうかであり、細かいデータまで必要ないというのであればそれでもいいとは思っている。

**【清水委員】**

観客の方から雨の中、一生懸命踊ってくれたと、ありがたい言葉で涙が出たって言う話も聞いた。それを聞いたときに阿波おどりは世界の阿波おどりであると、来年は来てくれる。今回データを見たときに来年は上がってほしい、上がるだろうと思っている。

報道関係を含めて今回は人出が少ないのは仕方ない。分析したところで仕方ない。来年は市に早めに実行委員会を立ち上げていただいて PR をしていく、報道関係を含めてお願いしたい。

**【豊永委員長】**

そのことについては我々が議論することであり、データを求めるかどうかである。

**【岡本委員】**

算出方法は色々あると思う。駐車場や演舞場で張りついている者、昨年との相対的、主観的なデータに基づいて推計していると思うが、来年以降に提言するにあたってはある程度客観的な数字、根拠がある数字が必要ではないか。様々なデータを全て俎上に載せた上でトータルとしてこのような数字を出すべきである。ヤフーニュースで NTT ドコモのビックデータの話があったと思うが、実際の入り数は 20 万か 30 万しかなかったと衝撃的なデータが出たと思う。後輩に NTT 研究所の者がいるので確認を行ったところ、携帯の GPS 機能をオンにして電源を入れている方の移動データであり、そのデータとしてはほぼ正しい。ただそれが全てではない。単なる算出方法の 1 つであると聞いた。しかし、実行委員会としてきちんとした算出方法を示し、その結果を出さないと、このようなニュースが出て余計な疑心暗鬼を生む。まずは今年の算出方法を別に相対的、主観的にかまわないので出して、その上で次年度以降はどのような方法で行うのか。例えば全国の祭りの算出方法と揃えてもいいと思う。このような方法で出した、このような方針でやりますっているのを明示すれば余計な疑心暗記を生まないと思う。

**【豊永委員長】**

どのように試算したか、次年度どのように試算するかとの比較検討の上で出した方がよいという意見で、肌感覚でいいという意見もあったが、来年度以降にどのように算出するのか、ネット上ではいろいろなデータが出ている。30 万人から 108 万人だとかかなりの違いである。裏付けのあるデータで主観的な要素も含むが、このようなやり方で行い、来年度はここを変更して精度を高める議論するため、比較対象として今年度どのような形で推計したかはデータとしてあった方がいいという意見に変わった。

**【竹中委員】**

何らかの対策を立ていくためには、数字は絶対必要だと思う。このような基準で算出した、その算出の仕方が良いか悪いかの議論はあるが、根拠のある一定の方法で行っていくことが不可欠だと思う。

**【福山委員】**

過去 3 期の決算書と一緒に人出に関して同じやり方でデータを取っていき、その推移で持って何が原因だったかを検討していく。議論の土台をしっかりと作っていいか

なければならない。

【清水委員】

日本にはいろいろな郷土芸能があり、全国には祭りがたくさんある、博多どんたく、ねぶた祭りでもたくさん人が来ているので算出方法を聞き、参考にするのも良いのではないか。

【豊永委員長】

今後、議論をしていく上でどのような資料が必要かは後ほど議論したいと思うが、今年の推計の詳細資料を出していただくことでよろしいか。

(異議なし)

【事務局】

資料6チケットの販売状況について説明

【竹中委員】

この資料に可能であれば、実際の来場者が何人来たかも付け加えていただきたい。

【豊永委員長】

各演舞場で入場者のカウントを行っているのか。

【事務局】

入場者数については、チケット販売枚数だけであり、実際の演舞場への来場者数は集計していない。

【豊永委員長】

チケット枚数の売り上げは入っているが、実際の来場者はわからない。チケットは売れているが空席の場合もある。

【清水委員】

当日来られない方もおり、空席はある。市役所前演舞場の空席はひどい。

【豊永委員長】

テレビ中継でもガラガラだった。

【清水委員】

特に線路際はほとんど客がいない。

【豊永委員長】

今後の課題になる。

【事務局】

資料7阿波おどり振興協会の総おどり強行について説明

【豊永委員長】

事故が無くて本当に良かったと思う。

【事務局】

資料8阿波おどり事業の検証方法について説明

【豊永委員長】

今後、阿波おどりをどのように運営していかべきか、そのような視点から契約や人出の推計方法など細かいこともあるが、大きな流れで言うと従前の方法に問題があるとして市の第三者委員会の指摘があり、それに伴い観光協会が破産して、新しく設置した実行委員会が今年の阿波おどりを実施した。そして、今年の収支がしばらくすれば出てくるので、どのように改善していくのか。検証委員会も少ない時間のなかで、阿波おどりがどうあるべきか、今までの現状、過去の決算等を踏まえ、他の祭りの運営体制等を調べ参考にしていけるやり方かどうかと。予算支出の工夫もあるが、透明性、客観性があれば多少赤字がでてでも仕方ない、赤字解消だけが目的だけではなく、お金がかかることは仕方ないと市民の納得が得られれば、必ずしも黒字にする必要がないかもしれない。

例えば、公益法人は公益事業で儲けを出したらいけない。そういうものであり、公益事業で黒字があれば黒字を減らしなさいと指導をすることもある。それは公益法人として自分のお金でやるからいいわけであって、行政が入る場合には当然赤字でいいことでもないが、内容と透明性と客観性、あるいは説得材料がしっかりあれば市民に納得していただければいいのではないか。そのようなことを含めて議論していければと考えている。阿波おどり運営体制も含めていろいろな資料を集めて議論していくということではどうか。

**【岡本委員】**

検証委員会の回数は3回でいいのか。

**【豊永委員長】**

実行委員会が来年度に早く取りかかりたいため、早くしてほしいとのことだが、内容がなければ早くやっても仕方ない。今年度の決算も出ていない。他の祭りがどのような負担をしているか、阿波おどりの運営方法と差があるかを含めて、議論していくことでよろしいか。

(異議なし)

次の会議で検討するためにどのような資料が必要になるのか。

**【清水委員】**

ねぶた祭りは、連っているのではなく1つの台を回す見せ物。博多どんたくも相互である。阿波おどりで言えば高円寺の踊りはある。いろいろな所を研究していただき、運営している組織等、徳島の阿波おどりと比較できる資料が必要である。

**【豊永委員長】**

思いつくところを言って事務局に当たっていただき、手に入らない場合は仕方ないスタンスでいいのではないか。

**【清水委員】**

よさこい祭り、ねぶた祭り、博多どんたく。

**【岡本委員】**

高円寺、南越谷は必要である。



【清水委員】

越中おわらもあるが、まったく別の性質のものだと思う。

【岡本委員】

メジャーな祭りを当てるのが早いのではないか。

【清水委員】

山形の花笠もいいと思う。

【竹中委員】

仙台の七夕まつりであれば、人出の算出方法が記事に出ている。推計ではなく、実際に数えており、その数を掛け算しているようだ。

【豊永委員長】

無作為に場所を設置して集計しているのか。

【竹中委員】

無作為ではなく、計画的に行っているようである。例えば瀬戸内芸にしても100万人って数字は算出方法の根拠を示している。

【豊永委員長】

竹中委員が言われているのはネットに掲載されているものか。

【竹中委員】

ネットに掲載されているものである。人出の推計は根拠が一番である。

先程事務局が発言していた、観光庁のやり方もありだと思う。ただ、人を配置しなければならぬが、できなくはないと思う。

【豊永委員長】

人出の推計方法について、他の祭りはどう行っているのかを資料提供いただきたい。他の祭りの推計方法はネットに掲載があるのか。

【竹中委員長】

今言った祭りはネットに掲載がある。青森のねぶた祭りはHPに掲載がない。掲載がないものは直接聞かないとわからない。

【豊永委員長】

先ほどの祭りにも推計方法も合わせて聞いていただきたい。

【清水委員】

祇園祭りや大阪の岸和田だんじりもあり、結構人出は多いと思う。

【竹中委員】

推計方法等を聞くのと同時に、一番の根本になる運営体制も聞く必要があると思う。

【豊永委員長】

調査する項目として予算、収支決算、推計方法、運営体制。

【竹中委員】

今までは阿波おどりを運営するだけで、いかに発展させていくかという視点がなか

ったのではないか。どう発展していくか、どう人に来てもらい楽しんでもらうか、そのような視点を持ってやっていき、阿波おどりに来てもらうことに対して責任を持っていく人が必要である。それを市の職員が片手間でできるかと言うと難しいものがある。本来、観光協会がやるべきものであったかもしれないが、できてなかったのが実態ではないか。

**【豊永委員長】**

第三者委員会の評価では、契約方法等が大雑把で、赤字減少に取り組んでおらず、当事者感覚が希薄だという指摘が第三者委員会の報告書に書かれている。

**【竹中委員】**

そのような指摘も踏まえて、人に来てもらうためにはどういう体制が必要なのか、他はどう行っているのかを聞いていただきたい。

**【清水委員】**

全国的に見て演舞場で料金を取るところはあまり無い。阿波おどりがダントツだと思う。例えば、高円寺にしてもかなり観客がいるが、お金を取るところは一部だけである。阿波おどりは施設も作るため、止むを得ないと思う。資料を出していただき、今後の在り方を協議していけば良いと思う。

今までは、どんぶり勘定で行っていたが、遡っても仕方ない。これからがスタートであり、どうするかを協力し一番いい案を出していければと思う。

**【豊永委員長】**

有識者会議にはいろいろな角度、出身の人が選ばれている。清水委員は今までは阿波おどりに連長として携わっていたが、議論する場はなかったと思う。観光協会が3月4月に揉めて、それでチケット販売を行い阿波おどりが終わったというところで、我々はまったく別の観点から、こうあるべきだという提言を実行委員会に行く。1つでもいい発想が出て改善につながればと思う。そのためには資料を揃えた上で議論を行い、ある程度整理ができればそれでいい、足りなければまた時間を取ってやっていければいいのではないか。前提として資料がなければ空中戦である。今年度の決算が出てないので、今回は方向性を決めて次回から具体的に議論できればと考えている

**【岡本委員】**

来年度の実行委員会立ち上げのためには、回数も時間も限られているため、事前にどういった議題で進めていくか、こういった資料を用意したっていうのを事前に連絡いただきたい。それに対して委員からの意見を取りまとめて、事前に各委員から出た意見を頭に入れた状態で進めないとスピードアップしていかない。

**【豊永委員長】**

岡本委員の意見では会議に限られるので事前に資料を配布すれば、スピードアップしていくのではないかとことだが、事務局としては可能か。

**【事務局】**

事務局からは、用意できた資料からになるかもしれないが、事前に資料をお送りすることは可能である。

**【岡本委員】**

各委員の意見を踏まえた上で議論をした方が早いので、それもお願いしたい。

**【竹中委員】**

資料8の検証について様々な課題もあったことから検証していただきたいとのことだが、事務局に課題について、ポイントを伺いたい。

**【事務局】**

一番大きかったのは客観的に数字にとして現れている人出の状況、チケット販売状況が落ちたのは事実である。先ほど意見があったようにネガティブ報道の話もあったが、それが引き金となり結果として出てきたのかもしれないが、やはり実行委員会として一番願っているのは街の賑やかさ、全国的に誇る阿波おどりであるので、いろいろな人来ていただき楽しんでいただき、踊る方、見る方も皆様に楽しんでいただく。結果として数字上でできていないことが突き付けられていると思う。

**【竹中委員】**

踊りの演出方法では何が課題であったのか、チケットの販売方法では何が課題であったのか。

**【事務局】**

踊りの演出方法については、有料演舞場及び前夜祭の演出方法を変えてチケット販売状況と人出の上昇につながらなかったこと。

チケット販売方法については、これまでと同様にチケット販売会社に委託し販売を行った。今年度はインターネットかコンビニエンスストアの2択しかない状態である。10年程前は手売りも行っていたが今は行っていない。これが高齢者には買いにくいという批判も受けている。それと、市内の旅館関係者への販売方法も変えた。その旅館関係の方からも苦情もいただいております、このあたりが反省点である。

契約の在り方については、第三者委員会の中でも随意契約について指摘されていたが、今年は限られた時間の中で全てが対応できていない。

運営体制については、実行委員会と運営協議会の2層構造で行っているが、組織体制自体がどういう機能したのか、この流れでいいのかという意見が9月7日に開催した実行委員会が出た。

**【竹中委員】**

課題について実際どうだったのかわかる詳しい資料をいただきたい。

**【豊永委員長】**

チケット販売方法等は資料の中に含まれているのか。

**【事務局】**

今日の資料には含まれていない。次回に会議までに去年と今年を比較した資料等を

送りたいと思う。

**【清水委員】**

全国から演舞場のチケットを買って下さいと自分に連絡がくる。どこのコンビニエンスストアでも買えると言ってもわからないと言われる。一番困ったのが3人に頼まれて、3人分を取ろうとすると1時間余ってかかった。1枚あたり108円の手数料がかかるため、2,000円であれば2,108円になる。チケット代が2000円であれば、手数料も含めて販売していただきたい。これから高齢化してくる、ネットが使えるならいいが、なかなかそうもいかないのが、金額面を含め検討いただきたい。

**【事務局】**

従前からそのような方式であったが、やはり不便で特に高齢者の方から買い方がわからないと事務局に電話いただいたこともある。このあたりも改善する必要があると考えおります。

**【豊永委員長】**

運営体制は今後、他の祭りとの比較になる。

**【清水委員】**

運営体制が漠然としわかりにくい部分ある。

**【事務局】**

運営体制は阿波おどりを主催している実行委員会、それと諮問機関である運営協議会の2層構造になっている。今までは観光協会と徳島新聞社の共催で運営を行っていた。今年の実行委員会は経済団体や徳島市、徳島新聞社などで構成されているが、このような体制でいいのか。このあたりは、他のお祭りがどのような組織でやっているのかを比較し、良い形を見つけていただければありがたい。

**【清水委員】**

自分は現場にいるので、いろいろな情報も入ってくる。東京の阿波おどりは非営利団体が実施しておりやり方が全く違う。演舞場で連が踊るためには2日間で5万円必要になる。そのこと以外にも練習会場行くのも団体が保険も入っており、踊りをしていて交通事故になったとしても補償される。本場徳島より新しい組織の方が進んだやり方をしている。

赤字と総おどりは大きな問題であり、赤字を解消するには4日間のうち1日演舞場に入れば協力金として1万円も出してもらおう。市民の方でも阿波おどりが嫌いなのに市民税まで取られているという心情がある。こういった人たちのために踊り子として、最近はそのままで考えている人もいると思う。

**【豊永委員長】**

今まで観光協会が運営していた体制とは変わっているので、今年度の収入支出が出れば、それをどのように変えていくか、先ほどの踊り子がお金を支払って観客は無料という意見が実行委員会か運営協議会の方で出たと思うが、その様な形で負担を軽減す

る考え方もあるので、いろいろな祭りの運営体制を参考にしていくのがいいと思う。

今の意見は高円寺阿波おどりの話なのか。

**【清水委員】**

高円寺の話である。

昔とは違うと思うので、時代と共に変わっていかなければいけない。

一昨年までは赤字であったが、去年問題が発覚したから黒字に転じたという記事を見て、何で10何年間も赤字で来ているのに問題が発覚したからといって黒字になったのか、疑問に感じた。黒字にしようと思えばいくらでもできる方法あるんだなと思った。

**【豊永委員長】**

それは嘘か本当かわからない話ではある。バイキングという番組に遠藤市長が出演されており、去年が黒字だったとははっきりわかっていないと回答していた。司会者から1年も過ぎてそんなはずはないと言われていて、自分もどうしてわからないのかとは思った。黒字が週刊誌等に出ていて、観光協会を解散させる必要がなかったのではないかとの記事があった。資料を見てからの判断になると思うが。

**【清水委員】**

今年の収支決算が出れば、わかると思う。

**【豊永委員長】**

今年の決算と去年の積み上げたデータを見てから議論をしていきたい。次回会議の時間帯をどうするか。開催する時刻、皆様の予定もあるが例えば午後4時ぐらいで開催はどうか。

**【岡本委員】**

事前にわかれば参加できる。

**【清水委員】**

時間を連絡いただければ、それに従います。

**【豊永委員】**

午後6時からだと後ろが限られている。午後4時ぐらいに開催ということで事務局に調整していただきたい。意見が出て資料作成も必要だと思うが。

**【事務局】**

資料は出来上がったものから順次送らせていただく。時間は限られているので議論しやすいように準備させていただく。

**【岡本委員】**

自分が持ってきた記事を配布している。インターネットで話題になった記事である。地方創成、街おこしなど、参考になると思うので目を通していただきたい。ポイントは徳島の阿波おどりがイベント地獄化した理由は、稼ぐ企画、知恵それと資金面で民間も入った方がいいのではという提案も入っている。2つ目徳島は阿波おどりが揉めて更にダ

メになったという記事。このポイントは内向きの争い、今回のように、古い人達の争いだったと思う。そういう争いはあり得ないので、これからどのように誰をターゲットにしてどう戦っていくのか、祭りを残るためにはどうすべきなのかが記載されている。3つ目、観光客数を増やす努力、体験型にどうシフトしていくのがいいのではないかと  
いう提言になっている。

昨日も運営協議会があったと徳島新聞の記事で拝見したが、中でいろいろな意見が出たとのことでのちに議事録を作成すると思うが、行政の仕事として文字起こしを行うのは面倒だと思う。例えば橋本市長の時に、大阪の府市連携協議会の時はビデオを流しっぱなし、HPにそのまま動画をアップしていたと思う。自分もそのような形でいいと思う。今後は、手続きを省略化して手間を省きわかりやすい方が良くと思う。議事録の委員Aとか委員B等もわざわざ伏せる必要があるのかと思う。別件だが、ホールの問題も事前の協議で名前を伏せてほしいと言った委員がいて、であれば協議に参加するなど個人的に思った。今回のこの件は各委員、覚悟決めて出ていると思うので別に名前出していただいてもかまわないし、基本は即時公開で包み隠さず全て出すのが良いと思う。人出の集計も何か隠しているのではないかと、疑われないようにした方が良く思う。

今日の会議に記者の方もいるが、一蓮托生だと思っている。記者の方にも責任があると思っている。記者の方がダメな報道をしているとかではなく、伝えるだけではなく、やはり徳島新聞は当事者なのでやりずらかったとは思いますが、言いたいことがあるのに言えなかった部分もあると思う。毎日新聞が出した記事は非常に客観的事実で良かったと思う。事前に聞いていたことが記事の中に入っていた。記事の事実を徳島県民でも知らない人はたくさんいたと思う。どこかの番組みたいに誰かを英雄視するのは間違っている。文化はみんなのものであり踊り手だけのものではない。先ほど清水委員の意見であったが、阿波おどりが嫌いな人はたくさんいる。そういった人の事も踏まえて公金が投入されている以上、そこはガバナンスを利かせないといけない、いろんな情報を正確に出さないといけないと思っている。今回の騒動は情報がきちんと出なかったことが1番の原因だと思っているので、そういった意味で報道の関係の方に協力いただきたい。

**【豊永委員】**

ただ、議事録は作っていただきたい。見直して誰が何を言っているか確認がしたい。

**【清水委員】**

今回、公開にするか非公開にするかで自分は公開してくだと言った。また疑問を持たれたらいけないので。

**【豊永委員長】**

審議会の中には嫌がる方もいるが、透明性、客観性を言っている我々が議事録だけがいいのかという問題はある、他の委員がいいのであれば自分がかまわない。

**【事務局】**

参考資料1～3について説明

以上を持って第1回阿波おどり事業検証有識者会議を終了する。

